

事務局日記NO. 8 山形で施主向け「断熱リフォームセミナー」県内5ヶ所で開催
 課題は「ユーザーにもっと来て欲しいなあ」



リフォームするなら断熱と耐震も

断熱リフォームセミナー 2009

～ 山形県内5カ所 市民住宅セミナー ～
 主催 NPO法人新木造住宅技術研究協議会

◇◇ 今日のプログラム ◇◇

- 13:30 はじめのご挨拶
- 13:05 断熱リフォーム 概要説明
 リフォームで高断熱……新住協全国事務局長 会沢健二
 《損するリフォーム 得するリフォーム》
- 14:25 休憩
- 14:30 各地区会員の事例紹介……地区会員
- 15:20 質問・補足の時間
- 15:30 終了予定

地域	日程	時間	会場
置賜地域	11月7日(土)	13:30～15:30	米沢市 米沢市民文化センター
村山地域	11月14日(土)	13:30～15:30	山形市 ビッグウイング
庄内地域	11月21日(土)	13:30～15:30	三川町 三川町公民館
東根市	11月23日(祝)	13:00～14:00	東根市 タントクルセンター
最上地域	11月28日(土)	13:30～15:30	新庄市 わくわく新庄

11月の毎土曜、山形県内5ヶ所で施主を対象とした「断熱改修・リフォーム」のセミナーを開催しました。各地区の会員が会場設営から集客、事例紹介発表者まで役割分担し、全体を事務局(会沢)がフォローするもの。米沢から始まり、尻上がりに受講者が増え、延べ約80人のユーザーが来場。主催者としては「内容が伝われば皆さん納得して貰えるので、今後は、いかに知って貰うかが



事務局:断熱リフォーム概論を説明、地区の施工事例につなぐ



庄内会場(株)コスモホーム 森氏。住宅営業という仕事柄、説明は上手で説得力充分。



リフォーム減税・各種補助の説明をする新庄会場 (株)木づくりの住まい 結 斉藤社長

◇1ヶ月の連続市民セミナーを終えて

①関心は「工事費用と業者」

受講者に求めたアンケートで目立つのは「悩みは工事費用と業者」。配付した共通テキストには8つの工事事例が紹介されていて、工事金額も300万円から2000万円超まで色々。当然のことだが、「一体我が家ではいくらかかるのか」ということになる。

問題は「断熱」にかかる費用と、その他の費用の区分。屋根壁の他に、台所や浴室まで設備一新すれば当然金額も大きくなる。

「リフォームするなら断熱気密も」と奨めるのが今の我々建築会社の良心といたいところだが、現段階では、断熱気密工事を行うから金額がかさむのではないことをきちんと明瞭にする必要があり、今後は、サッシや断熱気密工事費のようにメインとなる費用をより理解されやすい表現を工夫する必要があると感じた。

その点、今回配付資料の事例紹介の中に「内、断熱工事」と費用を明示したのはよかったがもう少し細分化が必要だった。

一方、断熱改修をしない業者(できない業者)でも、同じような断熱材、断熱サッシを使用するのだから、ユーザーにとっては業者選びがたしかに難しい。その点テキストP6では工事前と後との室内環境測定データを記載して、「結果」を出している技術力を訴えたのもよかったのだが、今後、日常の営業の中でどう表してゆくかがポイントでもある。

②断熱リフォームへの関心

こういうセミナーに来るのだから全員が関心を持っているのは当然中の当然であるが問題は「セミナーを聞いた後でどう思ったか」であろう。その点で、新庄会場では11組が「大変な興味6、興味あり5」である。「屋根壁を新しくしたって寒さは何も改善しない」「屋根壁を直すときこそ断熱リフォームのチャンス」というセミナーでのメッセージが伝わったとみていい。水周リフォームとかオール電化リフォームとかと同様に「断熱リフォーム」という言葉の使用頻度を高めて定着させたい。2009.12.1 会沢

③補助の話

省エネリフォームと称して「天井の断熱+南面サッシの断熱化」で〇〇万円という類の補助があるそうだが、それだけの活用ではなく、それは全体の中の一部として有効活用し、根本的な改善につないで欲しいと思う。

ユーザーに配付した資料は「会員インフォメーション」にあります。